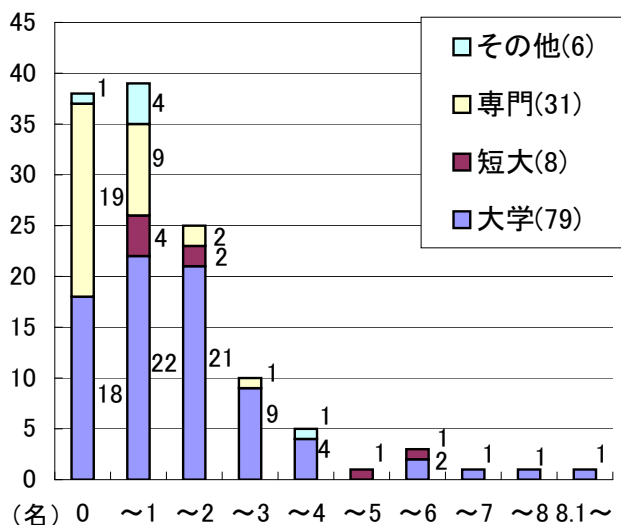


*** グラフでみる実態調査 ***

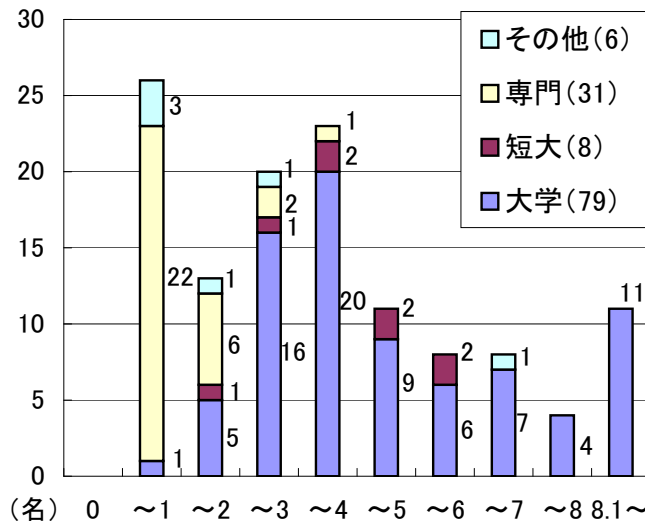
* 正規職員・専任 *

* 全職員数 *

有効回答数124館



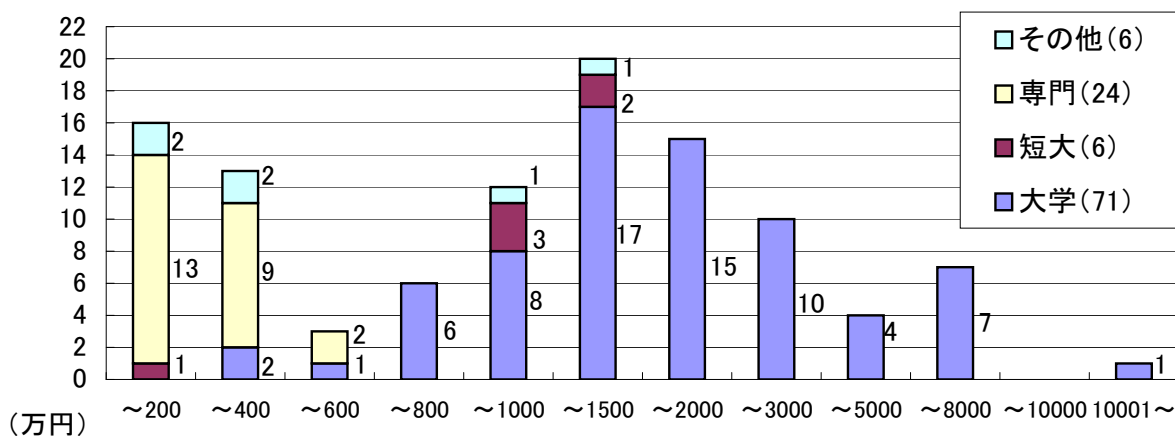
* 専任職員数の平均は、大学1.9・短大2.4・専門0.5
その他1.3名だった。昨年度より大学・専門は減少、
短大・その他は僅かながら増加している。



* 全職員数の平均は、大学5.4・短大4.4・専門1.4
その他2.5名だった。昨年度より全ての機関種で増加
している。正規職員以外の雇用が増加傾向にある。

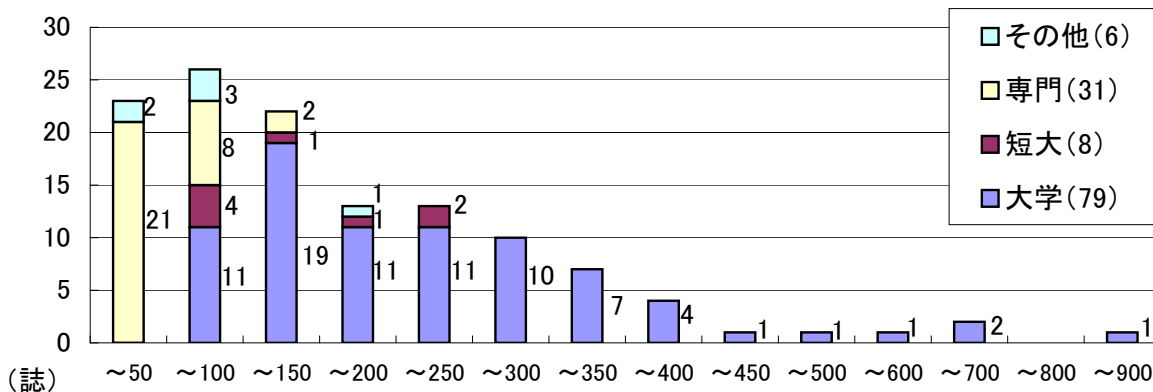
* 年間資料購入費 *

有効回答数107館



* 購入雑誌タイトル数 *

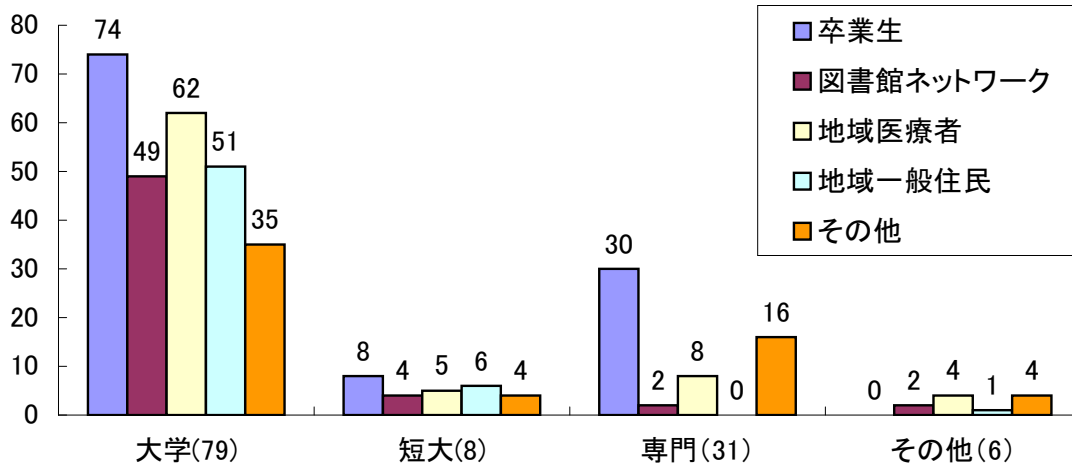
有効回答数124館



* 受入資料数のうちの購入タイトル数(洋雑誌を含む)についてグラフ化した。
全体数の平均は、大学224誌、短大132誌、専門46誌、その他72誌だった。
昨年度と比べ、大学・専門は減少、短大・その他は増加している。

外部利用者（所属機関外）への奉仕

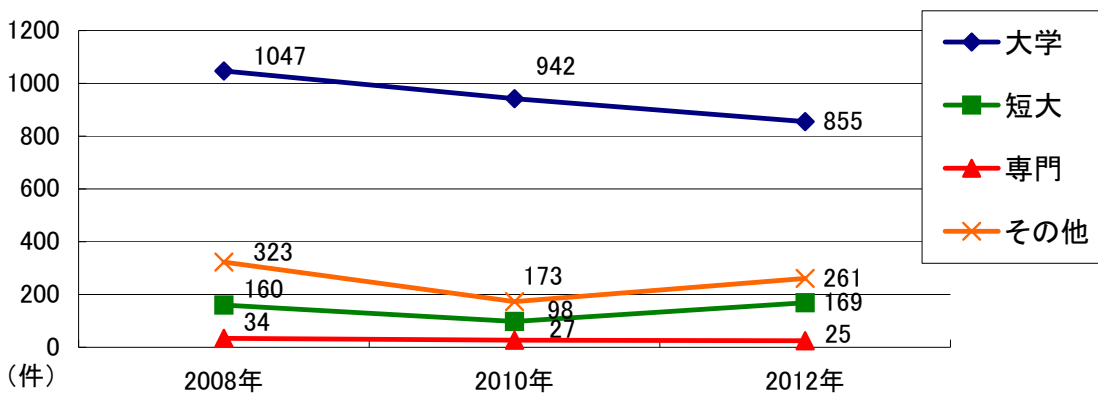
有効回答数124館



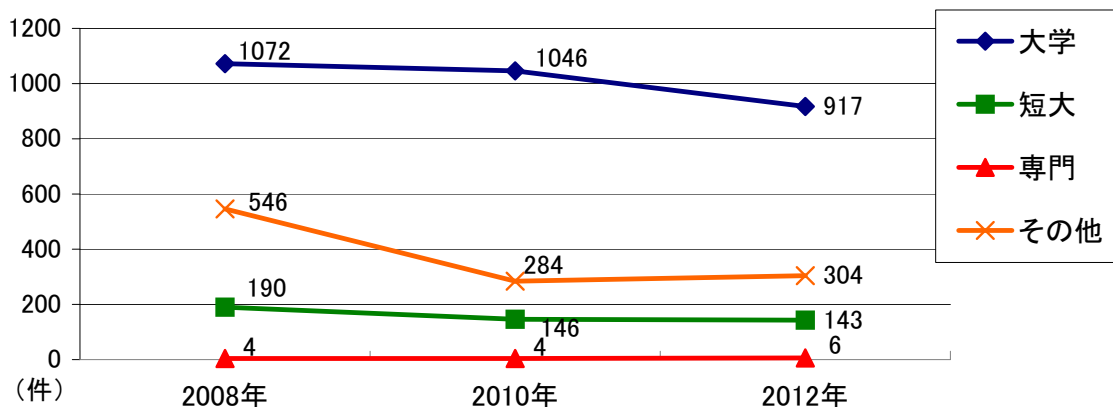
* 124館のうち121館約98%の館が外部に対して開放している。
その内84館約69%の館が単行本の貸出を行っている。雑誌に関しては21館17%の館が貸出を行っている。

相互貸借

複写依頼（平均）



複写受付（平均）



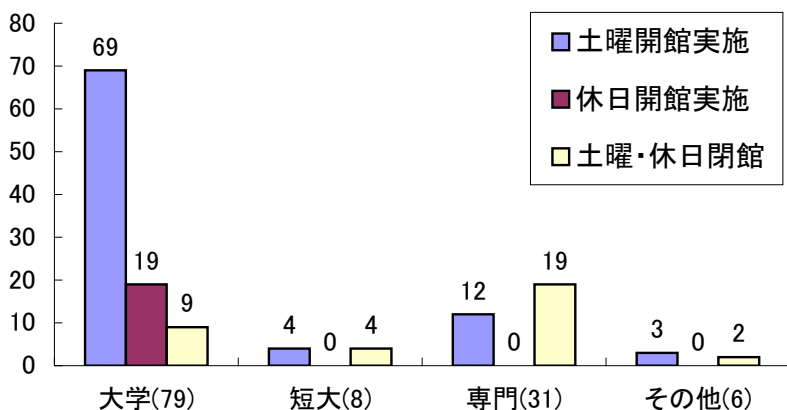
有効回答数

	大学	短大	専門	その他
2008年	67	9	28	6
2010年	75	10	27	8
2012年	79	8	31	6

* 4年前に比べ、大学・その他では依頼・受付ともに減少している。短大は依頼が増加、受付が減少、専門はその逆の傾向にある。

土曜・休日開館の実施

有効回答数124館

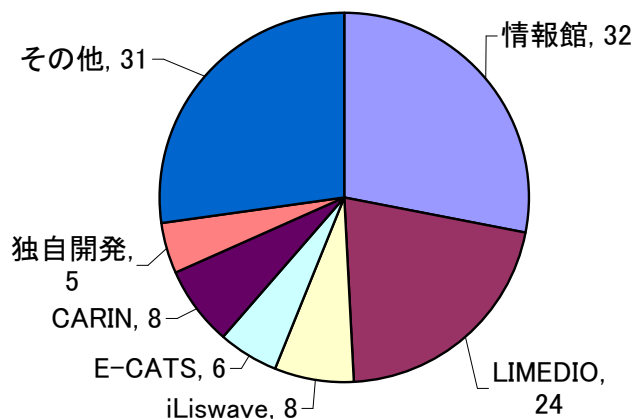


* 土曜日開館は全体の約70% (88館)が実施している。
土曜日・休日閉館は27% (34館)であった。

図書館システム

図書館システムは全体の92%にあたる114館(大学78館 短大6館 専門24館 その他6館)が導入している。

有効回答数114館

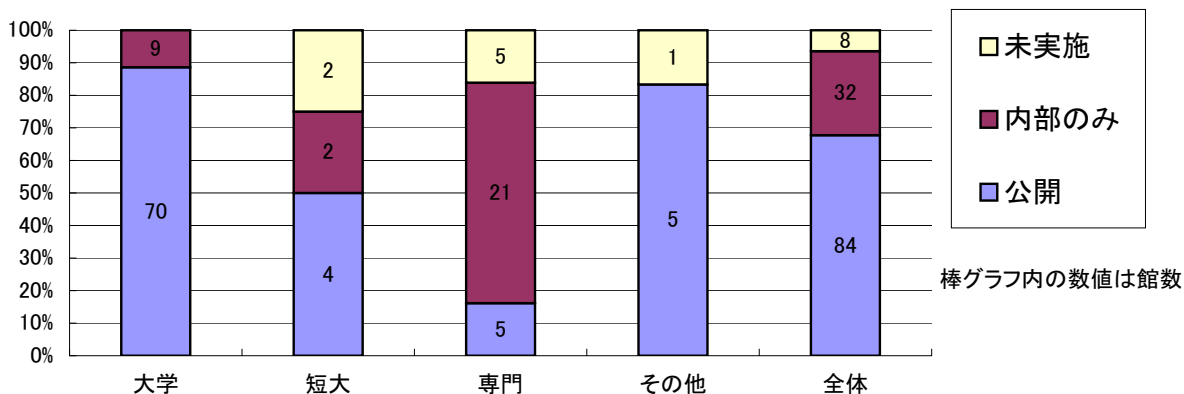


* 上位2種(情報館・LIMEDIO)が全体の56%を占めており、残りは全て利用館数が10以下。その他は1~3館のみ採用のシステムである。情報館は全ての機関種で利用されているが、LIMEDIOは短大・大学のみ、iLiswave、E-CATSは大学のみで利用されており他の機関種では利用されていない。

OPACの公開

OPACは全体の93%(大学79館 短大6館 専門26館 その他5館)が導入している。

有効回答数124館



棒グラフ内の数値は館数

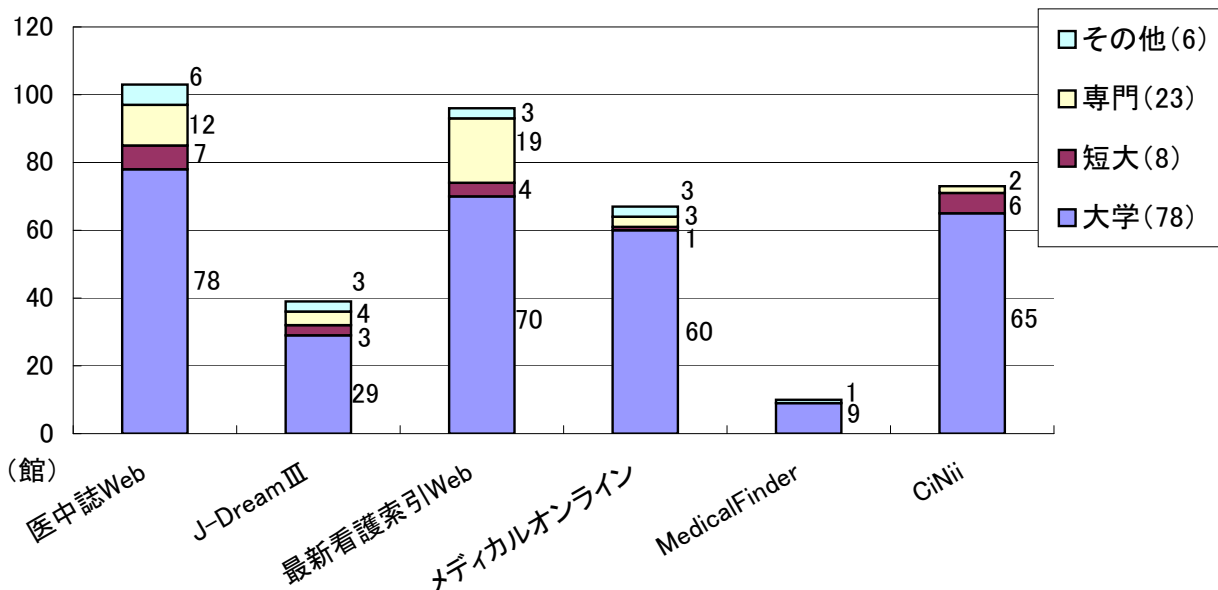
* 大学は全ての館で実施しており、未実施は大学以外の機関種に限られる。
一方、もっとも公開している割合が低いのは専門で68%にあたる21館が内部のみとなっている。

電子ジャーナル・データベース導入状況

二次資料データベースは115館(大学78館 短大8館 専門23館 その他6館)が導入している。
電子ジャーナルは79館(大学72館 短大3館 専門2館 その他2館)が導入している。
いずれも館単独ではなく大学本部・本館の予算で導入しているものも含む。

有効回答数115館

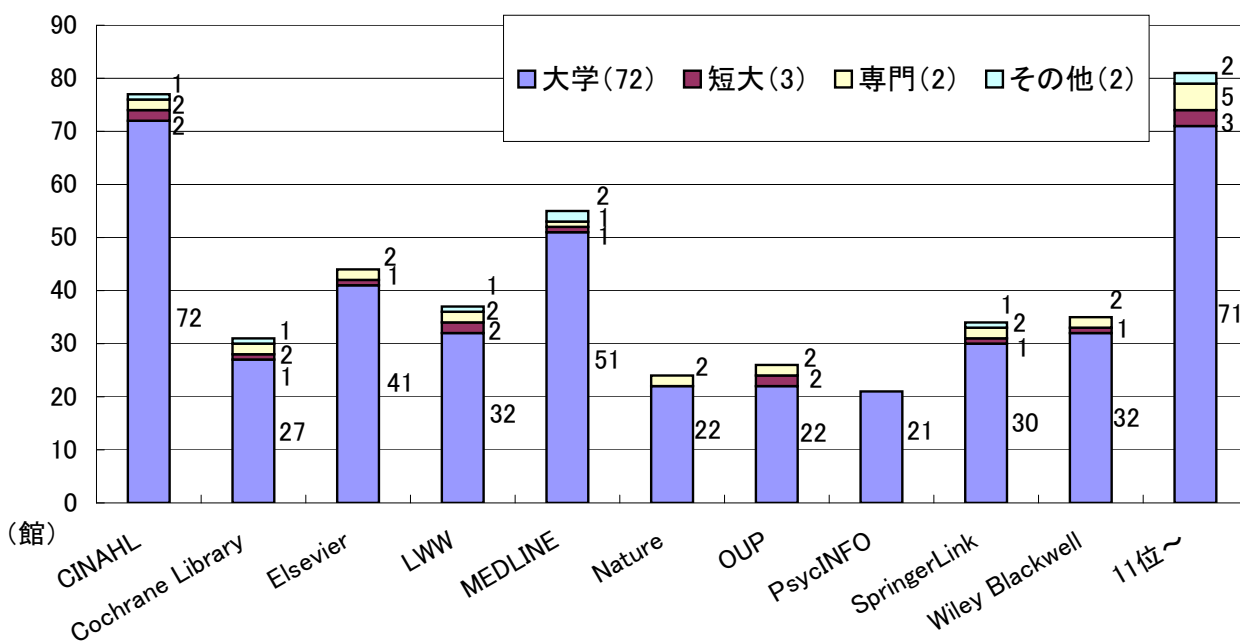
(国内)



* 国内データベースでは医中誌Web(103館)の利用が多く、ついで最新看護索引Web(96館)、CiNii(73館)、メディカルオンライン(67館)の導入が多い。
設問を有料のデータベースに限定したので、CiNiiは昨年度より減少した。
グラフに含まれない自由回答の「その他」には18種のデータベースがあり、「聞蔵」は大学の8館で導入していた。

(国外)

有効回答数79館



* 国外電子ジャーナル(EJ)およびデータベース(DB)の設問項目20種のうち、導入数の上位10位までを個別にグラフ化した。
昨年同様CINAHL(77館)、MEDLINE(55館)が多い。今年度は有料契約に限定したのでPubMedは外した。
11位から20位までのEJおよびDBは全体で81館が導入していた。
グラフに含まれない自由回答のEJおよびDBは21種あり、導入は1～3館と少数だった。